

ベーシックロガー C-CR800/850

特 徴

C-CR800 C-CR850 は C-CR510 の後継機で、C-CR1000 の下位に位置付けられるプログラム可能な、多チャンネルのフィールド用データロガーです。C-CR1000 と同じパフォーマンスを持ちながらコンパクトかつ経済的に設計されています。ch 数が少ない他は C-CR1000 と互換性が高く、C-CR850 はキーボードディスプレイを本体上に持っています。

C-CR510 との違い

メモリーが標準で 4 MB / 通信ポートが 2 つある / アナログ SEch が 6ch / 入力レンジが $\pm 5000\text{mV}$ / 熱電対測定のための冷接点補償用サーミスターが内蔵

C-CR1000 との違い

アナログ入力 ch が半分以下、コントロールポートが半数、拡張ポートがないので CF カードが使えない / 消費電力が若干大きい / 価格が安い



C-CR800



C-CR850

基本仕様

インターバル	0.01 秒(10ms) ~ 30 分(10ms ステップ)
記憶容量	標準 : 4MB (単精度 200 万データ)
インターフェイス	COM1 : CSI/O COM2 : RS-232C (アイソレートされていない) 通信速度 300 ~ 115.2kbps 1stop 8data None 時計精度 温度補正付、 ± 3 分 / 年 (-30-85)、 ± 15 分 / 年 (-55-85 XT)
内部プログラム	同時にいくつかのインターバル測定可能 各種算術計算、統計計算 (最大、最小、平均など) 風のベクトル演算、 センサー・機器の制御コントロール
電 源	9.6 ~ 16VDC (通常 12VDC 供給、逆接保護付) スリープモード : 0.6mA 以下、4.2mA(1Hz)、16.2mA(100Hz)
大 き さ	本体 : 241L x 104W x 51H 重量 : 0.7kg
動作環境	-25 ~ +50 (標準) 広温度範囲仕様 : CR800 : -55 ~ +85 / CR850 : -30 ~ +80
プログラム言語	CR-BASIC (従来の Edlog ではないのでご注意ください)
サポートソフト (オプション)	CS-Loggernet 3.3 以後: プログラム作成、データ回収、リアルタイムデータグラフ表示 多地点データ自動回収 (スケジューリング機能あり) など

入力・出力仕様

アナログ入力	SE6ch (差動 3ch) 13bitA/D アナログ入力レンジ ± 2.5 、7.5、25、250、2500、5000mV 分解能 0.67、2、6.7、66.7、667、1333 μV (SE) 50/60Hz フィルター使用時のノイズレベル 0.19、0.58、1.9、19.2、95.9、192 μV 精 度 $\pm 0.06\%$ (0-40)、 $\pm 0.12\%$ (-25-50)、 $\pm 0.18\%$ (-55-85 XT のみ)
パルス入力	24bit2ch (接点入力モード : 無電圧 open:6ms、close:5ms、 高周波モード : 250kHzmax、 $\pm 20\text{Vmax}$ 、low<0.9 high>2.2V 低周波 AC モード : $\pm 20\text{Vmax}$ 20Hz(20mV) ~ 20kHz(5V)
プログラマブル定電圧出力	2ch ($\pm 2.5\text{V}$) 分解能 0.67mV $\pm 25\text{mA}$ 精度 $\pm 0.12\%$ (-25-50) $\pm 0.18\%$ (-55-85 XT のみ)
常時定電圧出力	1ch (5V 固定)
コントロール電源	1ch (12V)、その他 12V 1ch
デジタル I / O	4 ポート、SDM(3 ポート使用)、SDI 2ch 接点入力 : 150Hzmax、高周波入力 : 400kHz、 出力電圧 : high:5V $\pm 0.1\text{V}$ 、low:<0.1V、low:出力抵抗 330、 入力電圧 : high:3.8 ~ 5.5V、low:-0.3-1.2V、入力抵抗 100k

拡張仕様(オプション)

- C-CR1000KD: C-CR800 の計測データ、ポート状態を表示・変更するキーボードディスプレイ
- C-LLAC4: デジタルポートに接続して、AC4ch 入力を拡張 (風速用)
- C-CR10X 用のオプション機器は SM4M/SM16M/CR10KD を除き全て使用可能です。